

月信

GOVERNOR'S
Monthly Letter



Rotary

International
District

2740

VOL. 11

2026.5



2025-26 年度 ガバナー月信



中島 潔 作 「夢は風に乗って」

国際ロータリー第2740地区 2025-26年度 ガバナー 石坂 和彦



Rotary


**UNITE
FOR
GOOD**

よいことのために手を取りあおう

2025-26年度 国際ロータリー会長のメッセージ

未来へ^{つむ}紡ごう ロータリーの価値!

2025-26年度 国際ロータリー第2740地区 地区テーマ

Index

Governor's message No.11	1
第2グループIM 報告	2
第7・8グループIM 報告	3
第9・10グループIM 報告.....	4
諫早北RC 創立55周年記念事業	5
武雄市から記念表彰を受けたことのご報告	6
米山記念奨学生修了式 報告	7
地区チーム・ラーニングセミナー 報告	8
第2740地区 職業奉仕委員会新聞	9
ジェニファー・ジョーンズ ロータリー財団管理委員長 来日告知	10
イアン・マッケイ駐日カナダ大使兼 インド太平洋地域担当特使 特別講演 告知	11
2026年2月会員数・出席報告	12
新会員紹介・寄付者紹介	13
からつ勘右衛 (かかね) 話 ・ 編集後記	裏表紙

ともに紡ぐ、その一歩から

2025-26年度 ガバナー 石坂 和彦

ふとした瞬間に、若い世代のまっすぐな言葉や、輝くような笑顔に心を動かされることがあります。そんな時、私たちは「未来はもうここにあるのだ」と、静かに気づかされるのではないのでしょうか。

5月「青少年奉仕月間」を迎えるにあたり、皆様とともに、あらためて「次の世代とどう歩んでいくのか」を考える時間を持つことを、うれしく思っております。

昨年、唐津で開催した地区大会は、多くの皆様にとって心に残るひとときであったのではないのでしょうか。あの場では、青少年にしっかりと光を当て、未来について語るだけでなく、実際に若い世代の声や想いに触れることができました。まっすぐな言葉や真剣なまなざしに、あらためて気づかされたことも多かったように感じています。

私はあの時、「未来は遠くにあるものではなく、すでに私たちのそばにあるのだ」と、静かに実感しました。そして同時に、青少年は導く存在というよりも、共に学び、共に歩んでいく大切なパートナーであると、改めて教えていただいたように思います。

だからこそ、ロータリーが大切にしてきた青少年への取り組みは、自然に「国際」へとつながっていきます。これからの時代を生きる若者たちは、国や文化の違いを越えて、人と人とを結んでいく存在です。少しの出会いが視野を広げ、小さな経験が大きな一歩につながっていきます。

国際青少年交換やインターアクト、ローターアクト、RYLA等といった機会は、決して特別なものではなく、若者たちが自分らしく世界と出会い、誰かを理解し、そして自分自身を見つめる大切な時間です。その一つひとつに、私たちはそっと寄り添い、背中を押していく存在でありたいと思います。

唐津で感じたあたたかな空気や、若者たちの輝きは、これからそれぞれの地域へと広がっていくのだと信じています。無理に何かを変えようとするのではなく、一人ひとりの関わりの中で、少しずつ、でも確かに未来は育っていくのではないのでしょうか。

笑顔で迎え、言葉を交わし、思いやりをもって接する。その積み重ねが、青少年の安心や自信につながり、やがて大きな力となっていきます。

今月は、そんな小さな一歩を大切にしながら、青少年とともに歩む時間を、皆様と分かち合えれば幸いです。

第2グループIM 報告

IM 実行委員長 田中 雄一郎 (佐賀北RC)

去る3月14日(土)、マリターレ創世にて、佐賀北ロータリークラブをホストクラブとして、国際ロータリー第2740地区第2グループ IMが盛大に開催されました。石坂和彦ガバナー、中島健太郎ガバナーエレクトをはじめ、第2グループ各クラブより多数のロータリアンにご参加いただきました。

今年度のテーマは『奉仕の心を紡ぎ広げる ～パラスポーツ、そしてロータリーへの想望～』。大坪義典会長の開会点鐘と西田信行ガバナー補佐の主催者挨拶で幕を開け、セミナーでは2名の講師をお招きしました。佐賀県パラスポーツ協会の岩寄駿氏からはボッチャを通じたインクルーシブ社会の重要性と県内の現状を、第2740地区ロータリー財団委員長・吉岡義治氏からはロータリーの理念と奉仕の精神について熱くご講演いただき、参加者一同、ロータリアンとしての使命を深く再認識する機会となりました。

懇親会では第2グループゴルフ会の表彰や全員での「手に手つないで」の唱和など、クラブの垣根を越えた温かい交流が広がり、2021-2022年度にガバナー補佐を務めた、当クラブの要、古賀久志君による「一丁締め」のもと大盛況のうちに閉会しました。

佐賀北ロータリークラブ一丸となってホストの大役を、生き生きと果たすことができました。ご参加、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



第7・8グループIM 報告

ホストクラブ会長 栗林宏光 (諫早RC)

令和8年3月7日(土)、国際ロータリー第2740地区第7・8グループのインターシティミーティング(IM)を、ホテルグランドパレス諫早において開催いたしました。

当日は、大久保諫早市長、石坂ガバナー、中島地区幹事をはじめ、栗林・宮崎・千葉パストガバナー3名を来賓としてお迎えし、多くの皆様のご臨席のもと盛大に開催することができました。

今回のIMは、第7グループ喜多ガバナー補佐、第8グループ山田ガバナー補佐をミーティングリーダーとし、両ガバナー補佐のご指導のもと諫早RCがホストクラブを務めました。また、第7・8グループの4クラブにコ・ホストクラブとしてご協力をいただき、ご来賓を含め総勢215名が参加する大変盛会なIMとなりました。

IMの趣旨である「近隣クラブが共通のテーマのもと語り合い、知己の輪を広げる」という目的を踏まえ、今回の大会テーマを『魅力あるリーダーとは』～共に紡ぐ未来～と掲げ、式典を開催いたしました。開会にあたり、来賓の大久保市長よりご挨拶を賜り、続いて石坂ガバナーよりご挨拶をいただきました。基調講演では、昨年佐賀で開催されたインターアクト年次大会でも講演を行われた吉木先生をお招きし、「今リーダーとして大切にしたいこと～次世代の幸せを願って～」という演題でご講演をいただきました。ここ10年間における社会の急激な変化の中で、戸惑いや課題を感じている方々、また世代間コミュニケーションの難しさを感じている方々にとって、大変分かりやすく、多くの示唆に富んだご講演であったと感じております。

続く座談会では、吉木先生と、諫早RC会員でもある創成館高等学校の奥田校長をパネリストに加え、諫早RC堀幹事がファシリテーターを務めました。「教育界の現状とリーダーのあるべき姿」をテーマに、教育の現場から見たリーダー像や次世代育成について活発な意見交換が行われました。今回のIMは、ロータリー活動を学ぶ場であると同時に、社会の変化や時代の潮流を学び、これからのリーダーシップの在り方を考える貴重な機会となったのではないかと思います。「温故知新」からさらに一歩進んだ「温故創新」へ。各クラブの枠を越え、また世代を越えて、「共に紡ぐ未来」を築いていくロータリー活動の意義を改めて感じる事ができた基調講演と座談会でありました。

その後、会場を移して懇親会を開催いたしました。和やかな雰囲気の中、他クラブ会員との交流も深まり、会場は終始賑やかな雰囲気に包まれました。さらに、創成館高等学校チアリーディング部による迫力ある演舞が披露され、会場のボルテージは最高潮に達しました。歓談の時間は瞬く間に過ぎ、中島地区幹事による万歳三唱をもってIMのすべてのプログラムを無事終了することができました。

最後になりますが、ご参加いただき友情の輪を広げていただいた第7・8グループの皆様、そして半年以上前から企画・準備を進め、当日もホストクラブとして尽力してくださった諫早RCメンバーの皆様に心より感謝申し上げます、本報告とさせていただきます。



第9・10グループIM 報告

IM 実行委員長 辻村 栄藏 (長崎北東RC)

2026年2月23日(月・祝)、この日は天皇誕生日、国際ロータリー創設日にあたる日になり、石坂ガバナー、駒井パストガバナー、崎永パストガバナー、塚崎パストガバナー、中島健太郎ガバナーエレクト、中島幸利地区幹事を来賓にお迎えし、国際ロータリー第2740地区IMを開催致しました。石坂ガバナーより暖かい挨拶を頂き、基調講演では、長崎北東ロータリークラブの運営方針「未来の良いことのためにいまを生きる」のもと、駒井パストガバナーに「ロータリーとは何だろう」と題し、ご講演を頂きました。ロータリーとは、職業を通じた社会貢献と相互扶助を基本理念とする世界的な奉仕団体である。「奉仕(Service)」は無償の尽力ではなく、ひとの役に立つ働き＝貢献を意味し、四つのテストの本義であり、五大奉仕部門を通じて地域・国際社会に貢献するというところに改めて気づかされ、ロータリアンとしての自覚を再認識させられた内容でした。

次に、記念講演では「生活指導の神様」と呼ばれる原田隆史氏に「人と組織をより良くするための方法」と題して、ご講演頂きました。急激に進化するAI時代のリーダーに求められるのは、信用と信頼を築く「人格」が必要とされ、

- ①変革の要諦は「主体変容」にあり、他者や環境のせいにならず、自らが変わることで組織に影響を与える姿勢が不可欠である。
- ②周囲の育成に関しては、具体的な手法として、自身の強みを周囲に役立てる「長所貢献」のマネジメントを推奨する。
- ③大谷翔平選手も実践した「オープンウィンドウ64」や「4観点の目標設定」を用いることで、社員の「自己決定力」と「自己効力感」の向上を図る。

そういった、数値管理を超えた「感情のマネジメント」を行い、社員の存在感を高めることこそが、次世代の強い組織を作る土台となることなど、我々経営者の心に刺さる内容でした。

また懇親会では、今年度、長崎で開催される全日本RC親睦合唱祭に出場予定のハミングバードの心に染みる合唱、そしてR-PROJECT DANCE STUDIOによる華やかなダンスが披露され、最後に参加者総勢約230名による壮大な「手に手つないで」の大合唱で幕を閉じました。



心づくり

- ①心をきれいにする
(成長の三原則 清掃・奉仕活動)
- ②心を使う
(未来を描く→目的・目標設定用紙)
- ③心を強くする
(継続→ルーティン行動)
- ④心を整理する
(予測と準備、振り返り→日誌)
- ⑤心を広くする
(ありがとう→ストローク)

諫早北RC 創立55周年記念事業

副幹事 舟津修二（諫早北RC）

諫早北ロータリークラブは、本年度創立55周年を迎え、その記念事業として二つの取り組みを実施いたしました。

一つは、劇団わらび座によるミュージカル『真昼の星めぐり』の後援です。地域の子どもたちをはじめ、多くの市民の皆さまに本格的な舞台芸術に触れていただく機会を創出することを目的とし、公演を支援いたしました。当日は世代を超えた多くの来場者が同じ空間で感動を共有し、文化が持つ力と地域のつながりの大切さを改めて実感する機会となりました。

二つ目は、諫早図書館への視聴覚機器一式の寄贈です。寄贈式は諫早市役所特別会議室にて行われ、大久保潔重市長をはじめ関係各位ご臨席のもと、Blu-rayデッキ、テレビ、音響機器等をお渡しいたしました。これらの機器が、子どもたちの学習支援や市民の文化活動の充実に長く活用されることを願っております。

55年の歩みを礎に、今後も地域社会に寄り添い、継続性ある奉仕活動を実践してまいります。



劇団わらび座 後援
2026年1月20日



諫早図書館へ視聴覚機器一式
寄贈式

2026年2月12日



武雄市から記念表彰を受けたことのご報告

地区幹事 中島幸利 (唐津RC)

2026年3月13日(金) 午前11時、石坂ガバナー並びに中島地区幹事が地区を代表して出席し、武雄市役所において小松政市長より国際ロータリー第2740地区に対して、武雄市制施行20周年の記念式典記念表彰という形で感謝状を頂きました。

2019年8月28日、佐賀県が1時間あたり110ミリから120ミリという未曾有の豪雨に見舞われ、住宅の全壊87棟、大規模半壊及び半壊が858棟、床上床下浸水が5,000棟を超え、農作物も米の作況指数が全国最低の58となるなど県南部を中心に甚大な被害となりました。大町町で水没した鉄工所から、湖のようになった田圃にオイルが黒い帯となって流れ出している写真を覚えておられる方もいらっしゃるかと思います。

そうした惨状を千葉ガバナー(当時)が全国ガバナー会に報告されたところ、全国のロータリークラブから多額の浄財が寄せられました。そこで、国際ロータリー第2740地区は、地区内で寄せられた浄財と合わせ、被災地域の自治体が復旧に活用できる支援金という形で、武雄市、多久市、大町町にそれぞれ1,000万円寄贈しました。それに対する感謝状という形で今回記念表彰を受けたものです。



米山記念奨学生修了式 報告

米山記念奨学委員会 八坂邦弘 (長崎みなとRC)
地区委員

2026年3月7日(土)、本年度の米山記念奨学生修了式が執り行われ、8つの国と地域の11名が、世界へと羽ばたいていくこととなりました。

当日の会場は長崎県諫早市のホテルフラッグス諫早。15時30分より式典を開始。中島健太郎ガバナーエレクトのお祝いの言葉、米山記念奨学会理事の崎永剛パストガバナーによる各修了生への修了証の授与、及びカウンセラーの方々への感謝状の贈呈。修了生代表としてマレーシア出身のアハマド イマン ハムザ ビン アハマド スフィアン君(長崎西RC)の謝辞。そして、高谷米山記念奨学会委員長長の挨拶と滞りなく式典は進み、予定よりも10分ほど早く修了式を終えることができました。

その後、17時より同会場にて歓送会を開始。19時に終了する予定だったのですが、皆さん思い出を語るのに時間が足りなかったようで、奨学生とカウンセラーのスピーチが予定の倍以上かかり19時20分の終了となりました。

今回修了した11名は3月で米山記念奨学生ではなくなりますが、お世話クラブそしてカウンセラーとの繋がりはこれからも続きます。また、学友会を通じてロータリークラブとの関わりも終わることはありません。米山記念奨学事業はこのようにロータリークラブの使命、理念を分かち合える仲間を増やすことができる大切な活動であります。今後とも皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



地区チーム・ラーニングセミナー 報告

地区チーム・ラーニングセミナー 実行委員長 **篠崎良介** (長崎東RC)

～ 一円融合 ～ 「夢を語ろう 感動を分かち合おう！」を地区テーマとし、次年度に向けた地区運営方針やロータリー活動の方向性について、地区リーダーの皆様の理解を深めるため、3月8日「地区チーム・ラーニングセミナー」が開催されました。

中島ガバナーエレクトからは、国際ロータリーの行動計画に基づいて四つの優先事項を意識した地区運営についてお話がありました。その中で示された「これまで達成してきた目標を超えていこう」という言葉は、ロータリーの活動が常に前進と挑戦の精神のもとにあることを改めて感じさせるものでした。

会員一人ひとりが夢を語り合い、その感動を分かち合いながら、これまでの成果を礎としてさらに高みを目指していくことの大切さを認識いたしました。本セミナーを通じて示された地区運営方針が各クラブの活動へと広がり、会員の積極的な参加と協力のもと、クラブの活性化と地区全体のさらなる発展につながっていくことを期待しております。実行委員会としても、本セミナーが次年度のロータリー活動の充実と前進の一助となることを願い、今後の活動に期待しております。



国際ロータリー第2740地区
2026-27年度
地区チーム・ラーニングセミナー
3月8日 於/サンプリエール長崎

第 2740 地区 職業奉仕委員会新聞

発行：職業奉仕委員会
2026 年 令和 8 年

11 号

第2740地区
職業奉仕委員会 新聞

Guy Gundaker は「ロータリアンの種類は1つしかない。それは、次の4つの活動を積極的に行なう Active Rotarian だけである」と述べ、その「4つの活動」とは

- ①個人としての活動
 - ②ロータリークラブにおける活動
 - ③同業者の団体における活動
 - ④公共的かつ慈善的奉仕
- としています。

そして①の「個人としての活動」とは「ロータリーの理想と実践という目標を念頭に置きながら、ロータリーが解く高い倫理基準と様々な奉仕を、自己の事業や専門職において実践することである」と述べています。このことを『Guy Gundaker から学ぶロータリー』の中で鈴木一作氏は「ロータリアン個人としての活動＝自己の事業や専門職務において実践する『職業奉仕』」と簡潔にまとめておられます。

さらに Guy Gundaker は「ロータリーとは、自分自身を、事業を、職種・業界を、そして社会を向上させるという『向上運動』以外の何物でもない」とし、「その向上の成否は、ロータリアンの個人としての活動（職業奉仕）にかかっている。すなわち『道徳律（職業倫理訓）』に記されたロータリーの諸原則を、自己の事業や専門職務において、ロータリアン一人ひとりがどこまで実践するかにかかっている。だからこそ、ロータリアン個人の活動（職業奉仕）こそ、最も重要なのである」と明記しています。そしてロータリアンとして「個人の活動」をはじめ、先に挙げた4つの活動を積極的に行なうことで「見よ、あの素晴らしきロータリアンを！」と世間は称賛してくれるであろうと述べています。

江戸時代の思想家である二宮尊徳（幼名 金次郎）は「徳を以って徳に報いる（以德報徳）」事こそ大切であると述べられました。私たちは天地自然をはじめ、社会、父母、祖先、兄弟、夫婦、子孫などから様々な恩恵を受け生かされている。この徳に報いる「報徳」の精神を決して忘れてはならないという訓えです。私はロータリーの精神、職業奉仕の精神と何ら変わらないと思います。私達、日本人は昔から、この精神を大切に考え、守り伝えてきたのです。

現在のロータリアンである私達も、価値観の変化や環境の違いなどあるでしょうが、「4つの活動」にある職業奉仕や社会奉仕などを積極的に行い、「見よ、あの素晴らしきロータリアンを！」と人々の称賛を得られるよう努めてまいりましょう！

地区職業奉仕委員 佐野安正

各クラブの会長・幹事・職業奉仕委員会の方へ例会でこの新聞の紹介をお願いします

職業奉仕 WEB ラーニング 参加者募集

2025-26 年度 5/20

水曜日 19:00 より 20:15 まで

職業奉仕の基礎を一緒に学びましょう。
参加には事前申し込みが必要です。➡



こちらの勉強会はメーカー対象の研修会となります

ロータリー財団への理解を深めるために

ジェニファーさんと 大いに語ろう！



2026-27年度ロータリー財団管理委員長
ジェニファー・ジョーンズ

ジェニファー・ジョーンズロータリー財団管理委員長がこの夏、私たち日本のロータリー会員のために来日されます。2022-23年度にRI会長として日本にお迎えしてから2度目の来日となります。特別企画として、クラブの会長、幹事、ロータリー財団委員長の皆様にも直接お話を伺いいただけるロータリー財団セミナーを開催いたします。ロータリー財団を知っていただく絶好のチャンスですので、お見逃しなく、多くの皆様のご来場をお待ちしております。



招集者：
2025-29年度ロータリー財団管理委員
辰野克彦

東京会場

2026年8月21日(金)

14:00～17:30 [受付 13:30～]

【会場】ニッショーホール虎ノ門

東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館2階
TEL. 03-6263-9957(代表)

【登録料】6,000円

神戸会場

2026年8月23日(日)

14:00～17:30 [受付 13:30～]

【会場】神戸ポートピアホテル
本館地下1階「偕楽の間」

兵庫県神戸市中央区港島中町6-10-1
TEL. 078-302-1111(代表)

【登録料】6,000円

詳細については、後日地区を通じてご案内いたします

Rotary



講演会
希望を紡ぐ、ロータリーの輪



特別講演

「すべては

ロータリー
から始まった」

イアン・マッケイ駐日カナダ大使は高校生時代に、留学プログラムで、旧下関第一高校（下関中等教育学校）へ留学されていました。講演会では、その当時の思い出を語り、また大使として日本に赴任されてからの出来事や、多岐にわたる日本とカナダとのつながり、またその重要性について多く語っていただきます。

2026年
6月6日(土)

開場 13:00 開演 13:30

開演を 14:00 から 13:30 に変更しました

諫早文化会館 大ホール

国際ロータリー第 2740 地区主催
地区職業奉仕委員会主管

イアン・マッケイ
駐日カナダ大使 兼 インド太平洋地域担当特使

2021年4月15日、駐日カナダ大使に指名され、2021年8月25日に天皇陛下に信任状を捧呈。2023年4月19日にインド太平洋地域担当特使に任命。

2026年2月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減
第1グループ	佐賀	4	80.1	73	7	80	8	4	0	4	7
	小城	3	92.6	28	4	27	4	0	0	0	-1
	牛津	4	64.3	24	0	26	0	0	0	0	2
	多久	4	69.2	31	6	31	6	0	0	0	0
	佐賀大和	3	68.2	22	6	22	6	0	0	0	0
	小計		74.9	178	23	186	24	4	0	4	8
第2グループ	佐賀西	3	77.3	39	4	43	4	0	0	0	4
	佐賀北	3	61.4	44	3	42	5	0	0	0	-2
	佐賀南	4	64.8	46	6	47	5	1	0	1	1
	神埼	4	74.3	39	4	40	4	0	0	0	1
	佐賀空港	3	56.0	17	0	17	0	0	0	0	0
	小計		66.8	185	17	189	18	1	0	1	4
第3グループ	有田	2	72.3	27	2	26	2	0	1	-1	-1
	武雄	2	84.1	40	2	44	2	0	0	0	4
	鹿島	2	98.2	25	5	27	5	0	0	0	2
	嬉野	4	83.0	24	2	24	3	0	0	0	0
	大町	3	80.0	12	0	13	0	0	0	0	1
	太良	4	86.1	9	0	9	0	0	0	0	0
小計		83.9	137	11	143	12	0	1	-1	6	
第4グループ	唐津	4	87.5	55	0	55	2	0	0	0	0
	伊万里	4	92.3	25	1	26	1	0	0	0	1
	唐津東	4	84.3	49	2	49	3	0	0	0	0
	唐津西	2	89.4	27	1	29	3	0	0	0	2
	伊万里西	4	84.1	34	5	33	5	0	0	0	-1
	唐津中央	4	76.5	33	4	36	4	1	0	1	3
小計		85.7	223	13	228	18	1	0	1	5	
第5グループ	佐世保	3	81.0	81	1	82	2	0	0	0	1
	平戸	4	71.6	22	3	23	4	0	0	0	1
	北松浦	4	87.0	25	2	23	2	0	0	0	-2
	佐世保西	4	67.7	22	6	24	6	0	0	0	2
	松浦	3	75.7	25	0	26	0	0	0	0	1
	小計		76.6	175	12	178	14	0	0	0	4

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減
第6グループ	佐世保南	3	100.0	60	3	64	3	0	0	0	4
	佐世保東	4	67.0	25	1	26	1	0	0	0	1
	佐世保北 (衛星クラブ13)	3	89.2	54	6	53	6	0	0	0	-1
	佐世保中央	4	86.4	52	2	55	2	0	0	0	3
	佐世保東南	2	64.0	25	0	25	0	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	73.2	23	4	22	4	0	0	0	-1
小計		80.0	239	16	245	16	0	0	0	6	
第7グループ	大村	4	72.9	41	4	40	3	0	0	0	-1
	島原	4	73.7	24	3	26	3	0	0	0	2
	大村北	3	86.3	26	1	27	1	0	0	0	1
	島原南	3	58.5	17	2	17	2	0	0	0	0
	大村東	3	74.7	36	7	37	7	0	0	0	1
	小計		73.2	144	17	147	16	0	0	0	3
第8グループ	諫早	4	73.2	68	0	71	0	0	0	0	3
	諫早北	3	83.1	74	3	76	3	0	0	0	2
	諫早西	3	89.8	46	3	41	3	0	0	0	-5
	諫早多良見	4	96.7	24	1	24	2	0	0	0	0
	雲仙 諫早南	2	62.5	12	3	12	3	0	0	0	0
	小計		81.1	224	10	224	11	0	0	0	0
第9グループ	長崎	3	95.6	60	2	62	3	0	1	-1	2
	福江	2	61.3	30	0	30	0	0	0	0	0
	長崎北東	2	88.7	34	2	34	2	0	0	0	0
	福江中央	2	91.2	18	2	18	2	0	0	0	0
	長崎西	3	74.5	33	1	34	1	1	0	1	1
	小計		82.2	175	7	178	8	1	1	0	3
第10グループ	長崎北	3	89.1	67	2	71	3	0	0	0	4
	長崎南	3	70.0	63	2	62	3	0	0	0	-1
	長崎東	4	82.4	39	2	40	2	0	0	0	1
	長崎みなと (衛星クラブ2)	3	82.4	33	7	26	2	0	0	0	-7
	長崎中央	2	85.0	42	1	44	1	0	0	0	2
	長崎出島	2	76.0	69	10	73	10	0	0	0	4
小計		80.8	313	24	316	21	0	0	0	3	

* 上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2025年7月1日から2026年2月末までの増減です。

54クラブ合計	78.8	1,993	150	2,034	158	7	2	5	42
---------	------	-------	-----	-------	-----	---	---	---	----

新会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々を紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職
※今月号に掲載が間に合わなかった
新会員の方のご紹介は、次号に
掲載させていただきます。



佐賀 RC
藤井 貴宏 君
(株)藤井電工
代表取締役



佐賀 RC
久保 和則 君
(株)葉隠緑化建設
代表取締役社長



佐賀 RC
古賀 克也 君
祐徳建設興業(株)
代表取締役



佐賀 RC
伊藤 喬 君
(株)サガビソウ
代表取締役



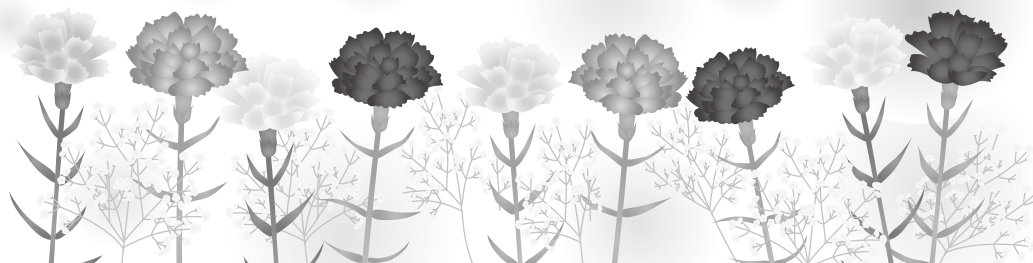
佐賀南 RC
山里 和則 君
富士警備保障(株)
執行役員 営業部長



唐津中央 RC
脇山 良昭 君
(株)脇山電気工事
代表取締役



長崎西 RC
松本 俊亮 君
東武トップツアーズ(株)
長崎支店
支店長



寄付者紹介 ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

※ ロータリー財団 ※

種 類	氏 名	クラブ名
メジャードナー	宮崎 清彰	諫早北RC
マルチプル・ ポール・ハリス・ フェロー	北村 孝輔	佐世保南RC
	吉次 良治	諫早西RC
ポール・ハリス・フェロー	井上 幸子	多久RC
	水頭 知美	諫早北RC

※ 米山記念奨学会 ※

種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者 マルチプル	荒木 公義	諫早西RC
	小野 秀喜	諫早西RC
米山功労者	門田 治男	佐世保西RC
	崎田 誠伸	佐世保西RC
	樋口 聡子	佐世保西RC

ポリオ・ワンコインBOX報告

今月分BOX金額	164,270円
累計金額	2,278,771円

準米山功労法人	九州ガス(株)
米山功労クラブ	佐世保西RC

からつ勘右衛 (かね)話



【第11話 とじょう汁】

今日は、かねどんの、とじょう汁の話ば、しゅうだい。
ある日、町田村の若者達がドジョウ汁を作って宴会をすることになりました。夕方、若者達が準備をしていると、豆腐をさげた勘右衛が通りかかりました。



普段は大酒のみでケチな勘右衛を誘うことがない若者達でしたが、今日は豆腐目当てで勘右衛を誘う事にします。

勘右衛は「さてはこの豆腐に目をつけたな」と気付く「そりゃ有難いが、ほかに用事があるから長居はできんよ」と言って宴会に参加しました。

さて、鍋も煮立ち、生きたドジョウを入れようかという頃、勘右衛は先に小さくきざみもせずに豆腐を鍋の中に入れてしまいました。若者達は不思議に思いましたが、すぐに生きたドジョウを入れてドジョウ汁が完成します。その時、勘右衛が「ありゃもう間に合わん。用があるけん帰るばい」と言って自分が持って来た豆腐を鍋からすくい出し持って帰ってしまいました。

若者達は豆腐目当てで誘った後ろめたさもあったので「しょんなか、豆腐は諦めるか」と気を取り直し、ドジョウ汁を食べようとしていましたが、なぜか鍋の中にドジョウは1匹もいません。不思議がる若者達でしたが、ある若者が気付きます。



「わかった！生きたドジョウは煮立った鍋に入れられて、苦し紛れに冷たか豆腐に全部もぐりこんだに違いなか！勘右衛はそんどジョウごと豆腐ば持って帰りやがった！」

今日の話は、こいばっかい。

(富岡行昌 著 『かねばなし』より)

編集後記

春の陽気に名残を感じる季節となり、2025-2026年度も残すところ1ヶ月あまりとなりました。皆様からいただいた情報をもとに打合せ校正等を行い、本誌を完成させるまでの日々が楽しいひとときでもありました。

今回は各グループのIM、その他の報告が掲載されており、皆様の熱心さを感じました。次回も充実した活動の様子と、一年間の締め括りとなる挨拶等を掲載してまいります。

月信委員会 副編集長 石本 修一

国際ロータリー2740地区
ガバナー事務所

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館地下1階
TEL 0955 (53) 9061 FAX 0955 (53) 9062
E-mail : ri2740tsuji@vc.people-i.ne.jp

WEBサイト▶

